



Title	受賞の報告 大阪大学賞の受賞「ヘリウム液化事業の推進・リサイクルシステムの構築チーム」
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2024, 174, p. 15-16
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/94818
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

令和5年度 大阪大学賞 大学運営部門
『公的機関や民間企業に対するヘリウム液化事業の推進と
リサイクルシステムの構築』の受賞の報告
ヘリウム液化事業の推進・リサイクルシステム構築チーム

コアファシリティ機構低温科学支援部門 伊藤 義浩、日高 志郎、笹尾 愛、小泉 文弘
大城 秀治、津々美 章子、印藤 弘子
中本 将嗣、竹内 徹也、中谷 亮一、百瀬 英毅
理学研究科 萩原 政幸¹

コアファシリティ機構低温科学支援部門（旧低温センター）を中心として推進してきた「公的機関や民間企業に対するヘリウム液化事業の推進とリサイクルシステムの構築」が評価され、この取組を主導する「ヘリウム液化事業の推進・リサイクルシステム構築チーム」が令和5年度大阪大学賞（大学運営部門）を受賞しました。



令和5年度大阪大学賞の楯（左）、西尾総長と受賞チームの記念写真（右）

学内の教育研究を支援する重要基盤として、100%を輸入に頼っている希少で高価な天然資源であるヘリウムを液化し再利用するリサイクルシステムを構築してきたノウハウや手法を活かし、学内にとどまらず学外の公的研究機関から民間企業まで包含するリサイクルコンソーシアムを構築することにより、大学で保有するヘリウム液化装置を有効に活用した社会共創及びSDGs推進と大学における財政基盤の多様化を実現しました。

1 旧低温センター センター長

本受賞に関わる業績は、以下のように様々なところで紹介されています。

- ・萩原政幸: 大阪大学におけるヘリウム液化事業について, 「低温工学・超電導の未来に向けて」 関西支部発足50周年記念特集, 低温工学・超電導学会関西支部 (2023), 224.
- ・「大阪大学低温センター」 外部機関からのヘリウム再液化を2019年から実施, ガスレビュー, No.993 (2022), 9.
- ・竹内徹也: シャープ亀山工場から液体ヘリウムを運んできました, 大阪大学低温センターだより, No.171 (2021), 18.
- ・山下穰: ヘリウム危機の現状と今後の課題について, 固体物理, Vol.55, No.5 (2020), 215.
- ・中村亘: 液体ヘリウム回収記, 低温工学, Vol.55, No.5 (2020), 367.
- ・勝本信吾: 「ヘリウム危機」に臨んでの緊急声明発表の経緯, 日本物理学会誌, Vol.75, No.4 (2020), 232.
- ・ヘリウムタイトの情報共有目的に東京大学でヘリウムワークショップ開催, ガスレビュー, No.925 (2019), 4.

なお、コアファシリティ機構 低温科学支援部門の職員の紹介は、低温センターだよりの下記号に掲載されておりますので、そちらもご覧ください。

- ・低温センターだより No.167 談話室「低温センター豊中分室職員の紹介」
- ・低温センターだより No.170 談話室「低温センター吹田分室メンバー紹介」

コアファシリティ機構 低温科学支援部門をご利用いただいているユーザーの皆様方、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。